

無病息災や家族の幸せを 大石田小学校でだんごさし

伝 統行事である「だんごさし」が1月28日(火)に大石田小学校で行われました。

この行事は、五穀豊穡や無病息災などを祈るために、ミズキなどの枝に色とりどりのだんごや飾りつけを行うもので、大石田町でも地区や公民館などで行われています。

当日は、大石田小学校の1年生がーからだんごを作り、自分たちで飾りつけを行い、家族が幸せや健康などのそれぞれの願いを込めながら飾りつけを行っていました。

参加した矢口陽燈さんは、「だんごを作るのが難しかったけど、楽しかったです。」と話していました。



ようこそ！大石田町へ 踊りや太鼓でおでむかえ

大 石田駅を訪れたインバウンドのお客様を、日本の伝統的な踊りで出迎えようと、最上川芭蕉連、雪国鷹巣太鼓、大石田町民謡研究会などの団体が協力し、それぞれの踊りや演奏を披露しました。この取り組みは、春節の週末に大石田駅を利用される多くのお客様にもっと賑わいのあるおもてなしをしたいと2年前から行われているものです。

今回は、露店の出店なども行われ、大いに賑わいを見せていました。



ニュース玉手箱

町の課題解決につながる！ 山形大学の学生による提案

町 が抱える雪などの問題を解決しようと、山形大学の学生による発表会が1月11日(土)に虹のプラザ「中会議室」で行われました。山形大学とは、平成27年に地方創生に関する連携覚書を締結し、雪の問題や若者の町への定着などをテーマに学生と地域住民との交流事業を行っており、毎年発表会を行っています。

今年は同校の学生たち1、3年生38人が8グループに分かれ、インターネットを使った事前調査や現地調査などを経て、町の課題や解決策を考えました。発表会に参加した学生たちは、町の人口減少や雪問題などの諸課題の解決策として「高齢化対策としての移動販売の実施」や「農業体験による就農」、「クーポンやスタンプラリーによる観光の促進」など様々な提案を行いました。

また、午後は町内の除雪ボランティア団体「スノーバスターズ」のメンバーと一人暮らし高齢者宅で除雪ボランティアを実施しました。学生たちは、慣れない雪に苦戦しながらも力を合わせ、雪を片づけていました。



地調査などを経て、町の課題や解決策を考えました。発表会に参加した学生たちは、町の人口減少や雪問題などの諸課題の解決策として「高齢化対策としての移動販売の実施」や「農業体験による就農」、「クーポンやスタンプラリーによる観光の促進」など様々な提案を行いました。

また、午後は町内の除雪ボランティア団体「スノーバスターズ」のメンバーと一人暮らし高齢者宅で除雪ボランティアを実施しました。学生たちは、慣れない雪に苦戦しながらも力を合わせ、雪を片づけていました。



スマホをもっと身近に 無料のスマホ教室を開催

ス マートフォン(以下、スマホ)を買ったけど使い方が分からない、便利な機能を使いたい方向けに無料のスマホ教室が1月21日(火)に虹のプラザ「小会議室」で行われました。

これは、ドコモショップ村山店の協力で、行われたものです。

今回の内容は、「マップの使い方」と「インターネットの使い方」について教室が行われ、参加者は自身のスマホを使い、学んでいました。

参加した、細谷さんは「せっかくスマホを買ったので、今回こんなに便利な機能があると知って、参加して良かったです」と話していました。



楽しく学ぶ、美味しいひととき おやこ食育教室を開催

放 課後子ども教室事業として「おやこ食育教室」が2月2日(日)に虹のプラザ「調理室」で行われました。

放課後子ども教室は、放課後や週末に子どもたちが様々な体験や地域との交流活動を行うことで、子どもたちの人間性を育むとともに、地域コミュニティの充実を図るため実施されている事業です。

当日は、恵方巻や、つくね、野菜の味噌汁などのメニューを親子で協力しながら和やかに調理していました。